



オトナのふるさと学習

# 月刊このへん だいすき

6月号

記録や形には残らず、日々失われていく地域の記憶  
いまさら人に聞けない「このへん」限定のジャンゴな話題あれこれ  
最近引っ越してきたあなたも  
生まれてこのかたずっと「このへん」なあなたも  
読めばたちまち、「このへん だいすき」に

作 セルジュ・タカハシ

ドキドキ♪



## 世界のクロサワ幻のデビュー作が 「このへん」で撮影されていた。 その主題歌として作られたのが、 あの有名な童謡だった。



世界の  
クロサワ

幻の  
デビュー作

あの有名な  
童謡

すこい!



映画監督の黒澤明。日本映画の頂点とも言われる巨匠。「羅生門」「七人の侍」など多くの作品が評価され、海外の映画にも影響を与えた。

監督になる直前、まだ助監督だった黒澤明がシナリオもロケ部分の撮影も担当し、実際にはまるごと監督してしまった、つまり幻のデビュー作。

この映画では主題歌が二つ作られ、作品の中で使われなかった方が戦後に一部の歌詞を変えて、あの有名な童謡として人気になった。

映画のタイトルは「馬」です。昔から馬は農作業に欠かせない大切なパートナーでした。昭和十六年公開のこの映画は、軍馬として連れて行かれる馬と少女とのふれあいを描いたもので、「このへん」をふくむ東北の各地でロケが行われました。監督は山本嘉次郎でしたが、シナリオを書き、ロケで実際に撮影したのは、昭和十八年に「姿三四郎」で監督デビューする前の助監督黒澤明でした。父親が中仙町出身なことは有名です。「リンゴの唄」の売れっ子サトウ・ハチローが作詞した方の主題歌は、映画の中では使われていませんが、戦後に歌詞をさしかえ、「めんこい仔馬」として人気の童謡となりました。横手の蛇ノ崎川原は戦前から家畜の市が立つ場所、近くの飲食店街が馬口券町と呼ばれたのは、馬を売り買いする博労さんたちでにぎわったなごりです。



POINT!

黒澤明の幻の監督デビュー作『馬』は、「このへん」で撮影された。オクラになった方の主題歌は、後の国民的な童謡『めんこい仔馬』

